

第1章 事業の概要

1 趣 旨

(1) 事業目的

令和3年度「東南アジア青年の船」青年会議は、「東南アジア青年の船」事業（以下「SSEAYP」という。）が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施できない状況においても、日本国と東南アジア諸国連合（以下「ASEAN」という。）10か国の青年交流を絶え間なく継続させるため、実施する。本会議は、ASEAN10か国及び我が国の青年が、オンラインを活用した交流活動等を行うことにより、青年相互の友好と理解の促進、青年の国際的視野の拡大、国際協調精神の醸成及び国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる次世代リーダーを育成することを目的とする。

(2) 事業内容

本会議はオンライン方式で実施することとし、これまで実施してきたSSEAYPの特徴を生かしながら、ディスカッション活動を中心として、参加青年が自主的に企画・運営するピア・ラーニングセッション等のプログラムを実施する。

ディスカッション活動は、「SDGs達成に向けた青年のエンゲージメント：変化への航路」をテーマとし、SDGs（持続可能な開発目標）の17のゴール（目標）達成のため、世界が抱える社会課題への理解を深め、青年として何ができるか、どう行動に移すべきか、9つの分野（①あらゆる人の活躍、②貧困、水・食糧へのアクセス、③働き方と経済成長、④教育、⑤強靱なまちづくり、⑥健康とウェルビーイング、⑦森林環境及び生物多様性、⑧海洋環境、⑨持続可能なエネルギーの利用）ごとにディスカッションを行う。この9つのグループは、それぞれの専門家でもあるファシリテーターによって運営される。

2 日 程

事項	日程
関係各国連絡会議	令和3年6月22日(火)
日本参加青年選考試験	令和3年8月22日(日)及び29日(日)
ファシリテーター会議	令和3年10月6日(水)、11月17日(水)、28日(日)、12月5日(日)、12日(日)、19日(日)
日本参加青年事前研修	令和3年11月7日(日)
「東南アジア青年の船」青年会議	令和3年11月28日(日)、12月5日(日)、12日(日)、19日(日)、令和4年1月9日(日)
日本参加青年事後研修	令和4年1月23日(日)

3 参加青年 (PY)

参加青年 (PY) は、次の資格要件を備える応募者の中から、各国政府が選考する。

(1) 人数

- 9分野各国各3名程度 (1か国全27名程度)
- 11か国合計300名程度

(2) 資格要件

- a. 令和3年4月1日現在、おおむね18歳以上30歳以下の者

- b. ASEAN各国と日本との青年交流に対する関心がある者
 - c. ディスカッション活動を円滑に行うことができる英語力を有する者
 - d. 過去SSEAYPに参加したことがない者
- ※ 本会議参加者も、来年度以降のSSEAYPに参加可。
※ 令和2年度「東南アジア青年の船」未来会議に参加した者の応募は可能だが、選考は新規応募者を優先する。

4 ファシリテーター会議

本会議におけるディスカッションの目的などについて、ファシリテーターに共通認識をもってもらうとともに、その運営方法等について協議、情報交換等を行うことにより、ディスカッションの円滑かつ効果的な実施に資するため、ファシリテーター9名とオンラインにて、「東南アジア青年の船」青年会議ファシリテーター会議を開催した。

【ファシリテーター会議協議事項】

第1回 (令和3年10月6日(水))

- (1) 令和3年度「東南アジア青年の船」青年会議概要と日程
- (2) 各分野に係る基礎情報についてのファシリテーターからの提案及び意見交換
- (3) 成果報告会の進め方
- (4) PYへの事前課題

第2回 (令和3年11月17日(水))

- (1) ファシリテーターから準備状況共有
- (2) ゲストスピーカー講義 (ディスカッション・グループ (DG) 別) について

第3回 (令和3年11月28日(日))

- (1) グループ・ディスカッションIの振り返り
- (2) ピア・ラーニングセッションについて

第4回 (令和3年12月5日(日))

- (1) グループ・ディスカッションIIの振り返り
- (2) 成果報告会に向けた準備

第5回 (令和3年12月12日(日))

- (1) グループ・ディスカッションIIIの振り返り
- (2) 成果報告会に向けた準備

第6回 (令和3年12月19日(日))

- (1) グループ・ディスカッションIVの振り返り
- (2) 自己評価 (DG別) について



第1回ファシリテーター会議 (令和3年10月6日)

【ファシリテーター名簿】

	ディスカッション・トピック	氏名	性別	国名
1	あらゆる人の活躍	Martin Polaine	男	英国
2	貧困、水・食糧へのアクセス	Rahmat Hidayat HM	男	インドネシア
3	働き方と経済成長	Dini Hajarrahmah	女	インドネシア
4	教育	Somkiat Kamolpun	男	タイ
5	強靱なまちづくり	Pannaritsara Chuenjitrabhiramon	女	タイ
6	健康とウェルビーイング	Carmela D. Barcelona	女	フィリピン
7	森林環境及び生物多様性	Vivien How	女	マレーシア
8	海洋環境	Nutcha Charoenboon	女	タイ
9	持続可能なエネルギーの利用	Sitta Marattanachai	女	タイ